下水道等事業会計決算

（１）下水道等事業会計決算額

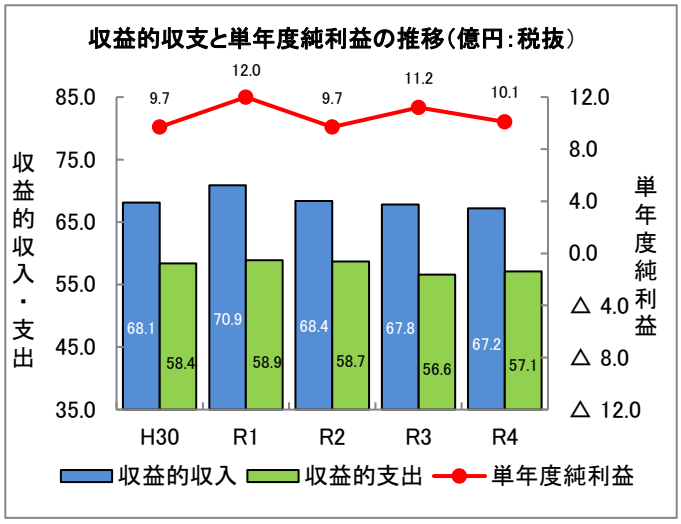
	収入決算額		支出決算額		差引額	（単位：億円）
収益的収支	６７．２	－	５７．１	＝	１０．１	【税抜】
資本的収支	１９．９	－	４０．４	＝	△２０．５	【税込】

（２）収益的収支の状況

令和４年度の収益的収支の総収益は 67.2 億円で前年度に比べ0.6億円の減少となりました。これは、前年度の流域下水道負担金の還付額の減により過年度損益修正益が減少したことなどによるものです。

また、総費用は 57.1 億円で 0.5 億円の増加となりました。これは、支払利息及び企業債取扱諸費が減少したものの、過年度損益修正損や減価償却費が増加したことなどによるものです。

この結果、当年度純利益 10.1 億円の黒字決算となりました。

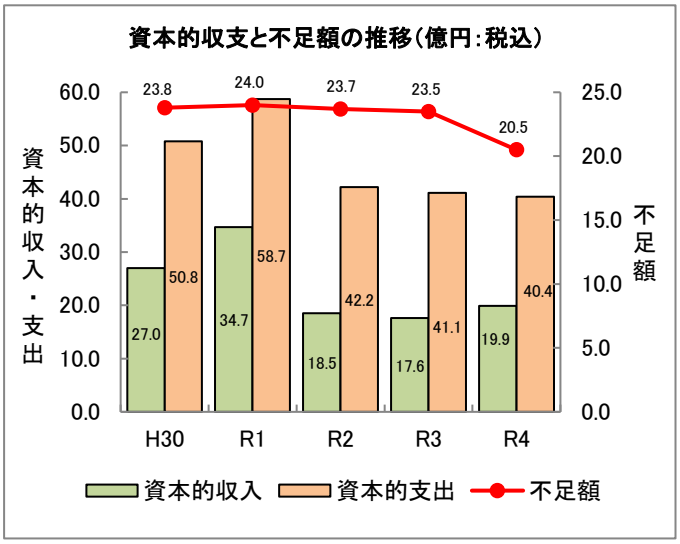


（３）資本的収支の状況

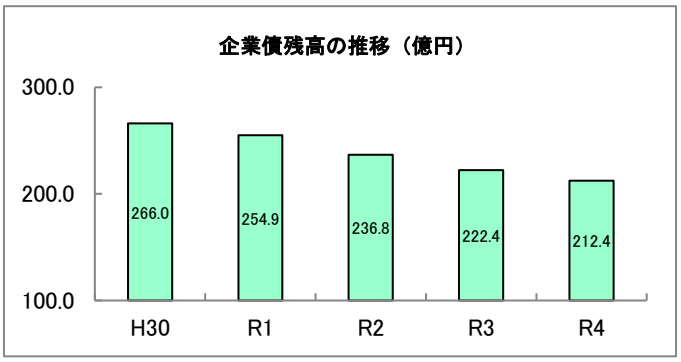
令和４年度の資本的収支の収入は、19.9 億円で前年度に比べ2.3億円の増加となりました。これは、企業債が増加したことなどによるものです。

また、支出は 40.4 億円で 0.7 億円の減少となりました。これは、建設改良費が増加したものの、企業債償還金が減少したことによるものです。

この結果、資本的収支不足額が 20.5 億円となりました。この不足額は損益勘定留保資金等で補てんしました。



（４）企業債残高の状況

令和４年度は企業債 17.2 億円を借入れ、20.7 億円を償還したことにより、企業債残高は 212.4 億円となりました。

近年、償還額に対して借入額が少なくなっていることから、企業債残高は毎年度減少しています。